様式第二十一の次に次の十九様式を加える。

様式第22の２（第34条の３関係）

石油精製業者等の製油所及び油槽所等被災状況

報告対象年月日	平成　年　月　日
提出日	平成　年　月　日

企業名	
事業所名	
作成者の職名	
作成者の氏名	
電話番号	

１．出荷設備被災状況

①電源・動力	被災状況※1	復旧見込※2	備考
電源(自家発電)			
電源(系統)			
動力(ポンプ等)			

②受入設備	被災状況	復旧見込	備考
海上受入			
貨車受入			
タンクローリー受入			

③油種別タンク・出荷設備

	貯蔵施設		タンクローリー出荷		ドラム缶出荷		海上出荷		貨車出荷		備考
	被災状況	復旧見込	被災状況	復旧見込	被災状況	復旧見込	被災状況	復旧見込	被災状況	復旧見込	
原油											
自動車用高級ガソリン											
自動車用並級ガソリン											
灯油											
軽油											
ジェット燃料Ａ規格											
ジェット燃料Ｂ規格											
低硫黄Ａ重油											
高硫黄Ａ重油											

２．生産設備被災状況

常圧蒸留装置		備考:(被災した装置(二次装置含)の状況、復旧見込及び製品生産への具体的影響を記載すること。)
被災状況※1	復旧見込※2	

※1：「被災」欄･･･0→被災なし通常稼働、1→一部被災（一部施設利用不可）、2→全壊等完全利用不可、
3→停電(物損無し)、4→安全点検中、5→火災（延焼中）、
6→常圧蒸留装置は異常無いが二次装置以降が被災の為稼働停止(２．生産装置被災状況のみで使用)
8→不明(確認中)、9→保有しない設備・装置

※2：「復旧見込」欄･･･稼働再開見込日を記載すること。復旧の見込が立たないものは「99」と記載すること。
一部復旧や制限のある復旧の場合は備考欄にその旨を記載すること。